

# 高齢者肺炎球菌予防接種費用の助成について

**下記の条件に当てはまる方は無料で受けられます！  
今年度対象の方には、既に個別にご案内をしています。**

## 【定期接種】

●対象者 日高町に住所を有し、次のいずれかに該当する方。

- 1 平成26年度から平成30年度までの間の当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方（平成29年度に関しては表1を参照してください）
- 2 満60歳から満65歳未満で、心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方

上記、いずれも過去に町の高齢者肺炎球菌予防接種費の助成を受けたことのある方や、他町の医療機関で高齢者肺炎球菌予防接種を受けた方は対象になりません。

※平成31年度以降の対象者については、改めて国で検討することとなっています。

表1 平成29年4月1日～平成30年3月31日までの対象者

年齢	生年月日
65歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生の者
70歳	昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生の者
75歳	昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生の者
80歳	昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生の者
85歳	昭和7年4月2日～昭和8年4月1日生の者
90歳	昭和2年4月2日～昭和3年4月1日生の者
95歳	大正11年4月2日～大正12年4月1日生の者
100歳	大正6年4月2日～大正7年4月1日生の者

●助成額 全額

※対象者の方へは、昨年4月に案内文書を送付しておりますので、ご確認ください。

## 【日高町独自の任意助成事業】

日高町に住所を有し、満70歳以上で定期接種対象以外の方、  
過去に町の高齢者肺炎球菌予防接種費助成を受けたことのある方は対象になりません。

〈申し込み〉医療機関に直接お問い合わせください。

〈助成方法〉①指定医療機関で接種した場合：町から1人につき5,000円を医療機関に支払いますので、予防接種を受ける方は、医療機関が定める金額から5,000円を差し引いた額を自己負担として医療機関窓口で支払ってください。

②指定医療機関以外で接種した場合：償還払い（立替払い）となります。領収書、予防接種済証、印鑑を持参し、助成の申請を受付窓口で行ってください。

〈指定医療機関〉門別国保病院、日高国保診療所、富川国保診療所、勤医協厚賀診療所

〈償還払受付窓口〉日高町役場健康増進課、日高総合支所地域住民課、水・くらしサービスセンター、厚賀出張所  
※対象にならない方は、これまでどおり全額自己負担となります。

## 【お問い合わせ先】

日高町役場 健康増進課 健康増進グループ 電話 01456-2-6571  
日高総合支所 地域住民課 健康・介護グループ 電話 01457-6-3173

# インフルエンザ予防について

1～2月はインフルエンザ流行のピークです。インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、10人に1人が感染しています。インフルエンザを予防するために、下記のことを今一度ご確認ください。

## ○うがい・手洗い・マスクを習慣化しましょう

帰宅時や調理の前後、食事の前、トイレの後など、こまめな手洗いを心がけましょう。  
マスクをすることで、鼻や口からウイルスが入らないようになります。

## ○十分な栄養や睡眠により、体調を整えましょう

体力や免疫力を高め、病気になりづらい状態を保ちましょう。

## ○咳やくしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう

1回の咳で5万個、1回のくしゃみで10万個のウイルスが飛び散ります。

今年度の予防接種については、門別国保病院・富川国保診療所は子どもの2回目の予約者のみ実施、日高国保診療所・勤医協厚賀診療所は終了しました。

町外の医療機関で接種される下記の方は、償還払い(立替え払い)にて1回目3,000円、2回目2,500円(13歳以下の場合)まで助成します。

**対象者**：65歳以上の方、中学3年生までのお子さん、60歳以上65歳未満の方で心臓・じん臓・呼吸器等に關する身体障害者手帳（1級）をお持ちの方、64歳以下の非課税世帯と生活保護世帯の方。

**持ち物**：接種済証または予診票のコピー（医療機関でもらってください）、領収書、印鑑、通帳。  
お子さんの場合は接種済証または予診票のコピーの代わりに、母子手帳でも可能です。

【お問い合わせ先】 日高町役場 健康増進課 健康増進グループ 電話 01456-2-6571  
日高総合支所 地域住民課 健康・介護グループ 電話 01457-6-3173

## 上手な医療機関のかかり方

安心して安全な医療を受けるためには、医療機関と患者さんが情報を共有し、信頼と協力のもとで医療を実施する必要があります。受診する際の準備や心がまえを知り、上手に医療機関にかかりましょう。

### ○症状を的確に伝えましょう

いつから、どこが、どのように具合が悪いのか  
今までかかった病気  
現在飲んでいる薬、薬の副作用の経験やアレルギー歴などを医師に伝えましょう。  
うまく伝えられるように、メモを書くなど準備しましょう。

### ○「診療時間内」に受診しましょう

救急のとき以外は、診療時間内に受診しましょう。  
救急外来では、できる検査や治療が限られることがあります。

### ○不安やわからないことは、遠慮せず聞きましょう

不安に思うことやわからないことは、遠慮せずにしっかり聞きましょう。  
また、検査方法や治療方法について、目的やそれともなうリスクなども確認しておきましょう。

### ○薬を受け取ったら、よく確認をしましょう

薬を受け取る際には薬の内容、用量、飲み方などを薬剤師に確認しましょう。  
また、飲み合わせは大丈夫か、飲み忘れた場合の対応なども確認しましょう。

### ○「かかりつけ医」をもちましょう

日ごろの体調の相談や病気の早期発見、健康管理のアドバイスを受けることができます。  
さらに専門的な検査などが必要な場合には、総合病院などを紹介してもらえます。